



茨城の土木遺産

反町閘門そりまち (茨城県自然博物館屋外展示、坂東市)

明治33年(1900年)竣工

利根川の増水時に飯沼川を遡上する洪水による飯沼地域の湛水被害を防除するため、明治33年に建設された。全長(河川横断方向)約22m、幅約6.35mのレンガ造り三連アーチの閘門で、設計者は笠井愛二郎氏。県では同閘門が美しい三連アーチの大型水門として長く親しまれており、利根川沿川地域における内水対策事業のシンボリック施設として歴史的にも貴重なものであることから、平成6年、近隣の県自然博物館の建設に合わせ、博物館園庭に部材の一部を活用して復元。屋外展示施設として活用している。

主な内容

- ▼ 関東甲信越地方ブロック会議を開催
- ▼ 建設フェスタ3年ぶりに開催
- ▼ 常設4委員会を開催
- ▼ 建女ひばり会がドローン体験会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局